

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

令和 3年 11月 22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473900599		
法人名	社会福祉法人 成寿会		
事業所名	グループホーム 大浜		
所在地	広島県呉市豊浜町大字大浜字深田482の1 (電話) 0823-68-2626		
自己評価作成日	令和3年10月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyoSyCd=3473900599-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyoSyCd=3473900599-00&amp;ServiceCd=320</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 FOOT&WORK
所在地	広島県安芸郡海田町堀川町 1番8号
訪問調査日	令和 3年 11月 22日 (月)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームでの生活は自宅での生活の延長である事を感じていただく為に、利用者の声に耳を傾け本人や家族の思いに寄り添ったサービスを心がけています。その中の活動として家族と他利用者との交流を図り家族の一員として過ごしていただけるよう食事の準備や掃除、洗濯に取り組めるよう支援を行っています。また天気の良い日には畑作業を行い、育てる楽しみや収穫の喜びを感じていただいております。その人らしい生活を共に考えながら生活に取り入れ、利用者一人一人の生活を大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム大浜は、旧小学校を改装して開設しており、地域の方にはとても認知されている。周辺は、みかんやレモン畑が多くあり、居室からは瀬戸内海が一望でき、又、緑豊かな山々の景色が広がっていて、利用者は四季を感じながら心豊かに過ごしている。職員一人ひとりが、取り組みの中での気付きをそのままにせず、どうすればご利用者の生活がより良くなるか、楽しい時間を増やせるか等、改善出来る事を前向きに考えて、提案し実践している。利用者の満足を得る為、毎日の献立の見直しを行ったり、コロナ禍の下、これまでのように外出支援や家族の面会等が出来なくなったのを受け、季節毎の行事、食事やおやつ作り、花や野菜の苗の植えつけと収穫等、利用者が季節を感じられ、気分転換の時間が増えるように工夫している。併設して老人保健施設があり、代表者や管理者は、朝礼や施設内研修、各種委員会活動を通して職員の意見や要望を聞く機会を設け、人事考課制度や必要に応じて個人面談を行い、職員の悩みや健康に関する相談にも応じ、勤務体制の変更等と併せて、幅広く職員の意見や提案を反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の掲示を行いカンファレンス時に本人の意向をもとに家族や理念に沿ったケアを提供できるように意識統一を図っている。	事業所理念「利用者の意思及び人格を尊重し家庭の延長としてその人らしい安心して生活が出来るよう支援します」を事業所内に掲示し、出勤時に目を通して確認している。研修や会議時に理念について話し合い、実践に繋がっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事に参加し社会とのつながりを持つように支援したが現在は新型コロナウイルス感染症防止で行事が中止となっている為、施設内の行事を増やして対応している。	自治会に入っていて、大浜祭り・豊島祭り等、地元のお祭りに参加し、隣接の老人保健施設で夏祭り(地域の方参加)、ボランティアでオカリナ演奏・日本舞踊の披露等の行事があったが、新型コロナ感染予防の為、中止になっている。事業所のパンフレットや「あび便り」を毎月作成して、地域に配布している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学を実施していたが、現在は面会制限を行って4いる為、パンフレットの配付等を実施している。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設内での会議を実施し、運営推進会議のメンバーに会議資料や議事録を送付し意見をいただいている。	運営推進会議は家族代表・自治会長・呉市福祉保健課職員・地域包括支援センター職員・民生委員・職員の参加を得て、2ヶ月に1度開催していたが、新型コロナ感染予防の為中止して、書面のやり取りで意見や要望を頂き、それらの意見をもとに職員のみで開催している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	会議録や新聞の提供を行い施設での取り組みを伝えている。	市担当者とは、書類提出時に直接出向いて相談している他、電話で情報交換して協力関係を築いている。市主催の会議や研修に参加している。地域包括支援センター職員とは、運営推進会議時に情報交換している他、電話や手紙で困難事例等を相談し、助言を得る等、日頃から連携を図っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束禁止委員会を開催し、定期的な研修を行う事で身体拘束についての理解を深めるとともに拘束ゼロを実施している。	年4回「身体拘束等の適正化のための対策検討会」を開催し、感染症罹患時の利用者の隔離、立ち座りが頻繁で転倒の多い利用者への対応等、事例検討会を開催している。スピーチロックに気づいた時は、その都度管理者が注意し、職員間でも注意し合っているが、会議で伝える事もある。各ユニットの居室は、2階・3階にある為施錠しているが、玄関は施錠せず、帰宅願望の強い利用者には、声のトーンに気を付けてしっかりと話を聞き、丁寧な対応を心がけたり、おやつを食べて気分転換を図る等、工夫して対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	虐待に関する研修を実施し、日常の業務では言葉づかい等に注意を払い職員間での意見交換を行い虐待防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。</p>	事業所内研修を行い、ご家族からの相談があれば対応をしている。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	出来るだけ契約前にパンフレットや口頭での説明を行っている。また、ご家族の来園・アンケートを利用し苦情・疑問を伺っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	日常生活の中で常に利用者の声に耳を傾けカンファレンスや日々の申し送りで意見交換をおこなっている。	運営推進会議時や面会時、電話、オンラインで家族から意見や要望を聞いている。今年度は面会制限をしている為、直接事業所に相談できていない。毎月の事業所便り「あび便り」には、担当職員の近況報告を記載し、写真も多めに掲載している。日頃から、家族が相談しやすい関係作りに努めている。家族からのケアに関する要望には、その都度職員間で検討して対応している。	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	日々の業務や申し送りで意見を聞き、改善するようにして職員用の意見箱を玄関に設置している。	管理者は朝、夕の申し送り時や、随時行っている面談時に、職員の意見や要望を聞いている他、日頃の業務の中でも職員に声をかけ、意見や提案を聞いている。それらの意見は検討し、運営に反映している。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	定期的に理事長の視察があり要望を聞いている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	個人研修や法人外の研修に参加するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同一法人の事業所とは頻りに交流しているが、他法人の事業所とは交流していない。</p>			
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前には事前面談の際に本人の希望を聞くようにし、入所後もスタッフが言葉かけを行い少しでも早く慣れていただけるように努めている。</p>			
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前にご家族と連絡をとり、生活への希望を伺っている。入所後は入所してからの様子を電話連絡しご家族に安心していただけるようにしている。</p>			
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>当グループホームや他施設の入所も視野に入れ本人に適したサービスやご家族からの要望も取り入れるように支援している。</p>			
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者の方の話を常に傾聴し、利用者からのアドバイスを受け日常生活に取り入れている。</p>			
19		<p>○本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者の現状報告をおこない今後必要なケアなどへの意見を家族から聴取する事で何でも相談できる関係作りの構築に取り組んでいる。</p>			
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍で実施できていない。家族とのオンライン面会、手紙などを通じ関係の継続に努めている。</p>	<p>家族の面会がある他、年賀状や手紙での交流、電話でのやりとりを支援している。感染状況に応じて、面会制限を変えており、感染症対策を徹底しながらも、居心地良く面会出来る様に工夫したり、窓越しの面会やオンライン面会、携帯での通話を行っている。これまでの馴染みの関係が、継続出来る様に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共同生活の中で本人の意思を尊重し、利用者同士の交流を図る支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	連絡があればすぐに相談に応じている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でコミュニケーションを図り、本人が話をしやすい環境を作り本人の希望や意向把握へつなげている。	入居時に、基本情報で生活歴、暮らしの様子、習慣、趣味等を把握している。日々の会話の中で、今したい事、大切にしている事等を聞き取り、広い視点で利用者の思いを探り、行動記録や業務日誌に記録している。把握が困難な場合は、家族等の情報を得て職員間で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人やご家族・在宅時のケアマネや入所前の施設のケアマネ等との連携をとり、本人の生活歴を把握しアセスメントの充実を図っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、利用者の発する言葉や行動・心身状態を記入、申し送りを職員間で情報の共有を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	申し送りやケアカンファレンスで意見交換を行い、現状に即したプランを作成している。	本人や家族の思い、主治医や看護師、職員等の意見を参考にして、計画作成担当者が中心になって介護計画案を作成し、カンファレンスで他の職員とも話し合っ、介護計画を作成している。日々の記録「ケース記録」にプランの実施状況と達成状況、伝達事項等を記載する事で、3ヶ月毎のモニタリング、カンファレンスで計画の見直しに活かしている。利用者の状態が変化した時は、その都度対応し、現状に合った介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケースや介護日誌に毎日記録し、各職員が閲覧する事で情報の共有をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	介護保険サービスに限定することなく必要な社会資源を活用していけるよう情報収集を行い対応している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	自治会長や民生委員の方から情報をいただいている。火災訓練には消防署と連携し指導を受けている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	ご家族と本人に相談をし、かかりつけ医や病院を設定している。	本人、家族が希望する医療機関3件を、かかりつけ医としている。協力医療機関がかかりつけ医の場合は、2週間に1回と4週間に1回の往診パターンがあり、必要時には往診がある。各かかりつけ医院の看護師が、健康管理を行っている。他科受診は、職員で支援している。事業所で受診を支援した場合は、家族へ電話や請求書送付時に結果を報告している。夜間や緊急時は、管理者を通して医療機関と連携して、適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	看護師やかかりつけ医の看護師に相談し、アドバイスを受けている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時など情報の提供をおこないスムーズな対応を心掛けている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入所時にターミナルケアを行わない事や、重篤化した時の支援について説明している。	契約時に、事業所ができる対応について家族に説明している。実際に重度化した場合は、早い段階から、本人や家族の意向を聞いて、主治医や看護師、関係者と話し合っ方針を決め、共有して、他施設や医療機関への移設も含めて支援に取り組んでいる。看取りはしていない。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	職場内研修で実施しているが、定期的には実施は出来ない。		

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	実施状況	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>自己評価</p> <p>年に2回昼夜を想定した避難訓練を隣接の老健と合同で行っている。</p>	<p>外部評価</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の為、事業所として年2回、日中想定と夜間を想定した火災訓練を実施し、通報訓練、避難訓練、消火訓練、避難経路の確認等を利用者も参加して行っている。災害時に備え、水や食料を備蓄し、生活用品、介護用品、救急用具、日用品、消耗品等を準備している。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>自己評価</p> <p>言葉かけや対応に不適切な事があれば、その場で確認し改善に努めている。記録は関係者以外には公表していない。</p>	<p>外部評価</p> <p>入居者の生活歴とその背景を把握すると共に、人格を尊重し、利用者の誇りやプライバシーを損ねる声かけや対応をしないよう気をつけている。特に言葉遣いには注意し、職員同士で確認し合うようにしている。個人情報の保管や取り扱いにも気をつけ、守秘義務を徹底している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>自己評価</p> <p>日常生活をおくる中で、何でも話せる関係の構築に取り組んでいる。話をする機会をつくったり家事作業時に調理方法などの相談を行うなどし自己決定の場をもてるようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>自己評価</p> <p>自宅での生活リズムを大切に、本人のペースに合わせた環境作りを心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>	<p>自己評価</p> <p>本人が自宅で着用していた物を継続して着用している。毎日の着替えは本人の希望を確認しながら対応している。新しい物は必要な時に本人の希望を尊重し購入している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>自己評価</p> <p>食事の準備を一緒に行う事で食事への興味をもっていたり、だき皆さんと一緒にあたたかい食事を食べている。</p>	<p>外部評価</p> <p>3食とも手作りで、隣接の老人保健施設栄養士から献立メニューを頂き、職員が腕を振って作っている。利用者は職員と一緒に、下ごしらえ、盛り付け、テーブル拭き、下膳、食器洗い、トレイ拭き等、出来る事をしている。施設の炊で作った新鮮な、とまと・オクラ・トウモロコシ・枝豆・スイカを召し上がっている。おやつは、おはぎ・ヨーグルト・ムース・パウンドケーキ・甘夏のケーキ・バナナケーキ・お月見団子を、皆さんで手作りして、食され楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>自己評価</p> <p>食事摂取量・水分量で栄養確認を行っている。個々にあった食事形態での提供を行う事でバランスのよい食事ができている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>自己評価</p> <p>食後は歯磨き・うがいを実施している。自己にて難しい方には職員が付き添い対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	外部評価	
			自己評価 実施状況	外部評価 実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄ペースにあわせ言葉かけ誘導を行う事でトイレでの排泄を継続し失禁回数の減少に努めている。	排泄チェック表を活用し、利用者別に排泄パターンを把握し、トイレで排泄ができるよう促している。訴えはなくても、表情や行動でも排泄に気づくような観察も併せて行っている。利用者の身体状況に応じて、職員2名で介助する等して、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日、排便状況を確認し、水分補給と散歩・運動等を提供している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	個々の状況にあわせ対応できるよう努力をしている。発汗が多く見られる時や便失禁後などには清潔保持の為優先的に入浴を実施している。	入浴は、体調や気分の変化を観察し、入浴拒否する方へも声掛けの方法、タイミングを変え、さりげない誘導を行い、入浴してもらえるように支援している。利用者の状態によって、シャワー浴や部分浴、足浴、清拭等で対応している。入浴したくない人にはタイミングをずらしたり、職員を変えたり、気の合う職員が声かけしたり、同性介助にする等している。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	テレビを観たり、ソファで寛いでいただいている。また室温やパジャマの調整で安眠しやすい環境作り心掛けています。	
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全体で利用者の内服薬の現状の理解を深めている。変更があった時は口頭や申し送りノート等で情報の共有を行っている。日々の健康観察で体調変化の早期発見に努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者それぞれの意向・能力にあわせ取り組めるよう作業を検討し提供している。作業に参加する事で達成感を感じていただけるよう工夫している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には散歩や畑作業を行っている。利用者個人の希望に添えるよう買い物などの代行を行っている。	コロナが終息するまでは、施設内で出来る行事の充実と天気の良い日には、施設敷地内の園芸や畑作りで、外気浴、日光浴をし、ストレス発散をされ、健康維持をされる事を期待します。



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>管理は職員が行っている。利用者の意向を確認し職員が買い物を代行している。</p>			
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人や家族が希望される場合は対応をしている。家族と約束した時間に電話をかけたり、利用者が希望される場面で電話を行っている。</p>			
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間にはレクで作った作品を掲示している。各居室にも自分の作った作品を飾り、部屋の雰囲気明るくなるように努めている。</p>	<p>食堂兼リビングは、自然光や大きな窓からの陽ざしで明るく、広々としている。壁や通路には、皆さんで手作りした、色とりどりの朝顔のモビールや、折り紙でチューリップ畑を作り飾っていて、華やかになっている。作品作りで手、身体を動かし楽しませている。室内には、広いテーブルやイス、ソファがゆったりと置いてあり、テーブルには、季節の花を飾っている。キッチンからは、食事の準備の音や匂いがして、家庭的な雰囲気を感じる事が出来る。快適な室温や湿度、換気にも配慮して、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>フロアーや食堂にソファを置き、利用者間で寛いでいただけの空間を創っている。</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>希望者には自宅で使用している棚や、思い出の写真や自分で作った物を飾っていただいている。</p>	<p>衣装ケース、整理ダンス、小机、椅子、鏡台、時計、テレビ、化粧品、造花、本、雑誌、ぬいぐるみ、携帯等使い慣れた物や好みの物を持ち込まれている。又、部屋に家族の写真や手紙、誕生日カード、色紙、カレンダー等を飾って、居心地良く暮らせるように工夫をしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物はバリアフリーとし、手すりを設置している。居室には許可をいただき名札を表示し、居室がどなたでも分かるように名札を目線の位置に設置している。また食堂やトイレの場所にも表示をおこなっている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念は大きく書き出し、常に職員の目の届く所に表示し理念に沿ったケアを提供できるように意識統一を図っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	現在はコロナ感染防止で中止になっているが、近隣医等にパンフレットや新聞を設置させていただき事業所の様子を知らせている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学を実施していたが、現在は面会制限を行って4いる為、パンフレットの配付等を実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	資料の配布により運営推進会議メンバーからいただいた意見を実践の場にかかしていけるよう職員への情報共有をおこなっている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の議事録を送付し、分からない事があれば電話等で連絡し合っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束禁止委員会を開催し、定期的な研修を行う事で身体拘束についての理解を深めるとともに拘束ゼロを実施している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待に関する研修を実施し、日常の業務では言葉づかい等に注意を払い職員間での意見交換を行い虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内研修を行い、ご家族からの相談があれば対応をしている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	出来るだけ契約前にパンフレットや新聞を渡し、口頭説明を行っている。また、ご家族の来園・面会・アンケートを利用し苦情・疑問を伺っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常生活の中で常に利用者の声に耳を傾けカンファレンスや日々の申し送りで意見交換をおこなっている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の業務や申し送りで意見を聞き、改善するようにしている。職員用の意見箱を玄関に設置している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	視察や意見ボックスの要望を聞いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職場内研修を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同一法人の事業所とは頻繁に交流しているが、他法人の事業所とは交流していない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前には事前面談の際に本人の希望を聞くようにし、入所後もスタッフが言葉かけを行い少しでも早く慣れていたできるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前にご家族と連絡をとり、どのように生活をして欲しいか希望を伺っている。入所後は入所してからの様子を電話連絡しご家族に安心していただけるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	特養や老健の入所も視野に入れ本人に適したサービスやご家族からの要望も取り入れるように支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者の方の話を常に傾聴し、利用者の意見を日常生活に取り入れている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者の現状報告をおこない今後必要なケアなどへの意見を家族から聴取する事で何でも相談できる関係作りの構築に取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍で実施できていない。家族とのオンライン面会、手紙などを通じ関係の継続に務めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共同生活の中で本人の意思を尊重し、利用者同士の交流を図る支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	連絡があれば相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でコミュニケーションを図り、本人が話をしやすい環境を作ることで本人の希望や意向把握へつなげている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人やご家族・在宅時のケアマネや入所前の施設のケアマネ等との連携をとり、本人の生活歴を把握しアセスメントの充実を図っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々、利用者の発する言葉や行動・心身状態を記入し職員間で情報の共有を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	申し送りやケアカンファレンスで意見を求め、現状に即したプランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケースや介護日誌に毎日記録し、各職員が閲覧する事で情報の共有をおこなっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	介護保険サービスに限定することなく必要な社会資源を活用していけるよう情報収集を行い対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	火災訓練等には消防署と連携し指導を受けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族と本人に相談をし、かかりつけ医や病院を設定している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師やかかりつけ医の看護師に相談し、アドバイスを受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時など情報の提供をおこないスムーズな対応を心掛けている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時にターミナルケアを行わない事や、重篤化した時の支援について説明している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職場内研修で実施しているが、定期的には行っていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年に2回昼夜を想定した避難訓練を隣接の老健と合同で行っている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>言葉かけや対応に不適切な事があれば、その場で確認し改善に努めている。記録は関係者以外には公表していない。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>日常生活をおくる中で、何でも話せる関係の構築に取り組んでいる。話をする機会をつくったり家事作業時に調理方法などの相談を行うなど自己決定の場をもてるようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>自宅での生活リズムを大切に、本人のペースに合わせた環境作りを心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしやれの支援 その人らしい身だしなみやおしやれができるように支援している。	本人が自宅で着用していた物を継続して着用している。新しい物は必要な時に本人の希望を尊重し購入している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事作り等を一緒に行う事で食事への興味をもっていたき皆さんと一緒にあたたかい食事を食べている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量・水分量で栄養確認を行っている。個々にあった食事形態での提供を行う事でバランスのよい食事ができている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後は歯磨きを実施している。自己にて難しい方には職員が付き添い対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄ペースの確認を行い必要に応じた言葉かけを行う事でトイレでの排泄を継続し失禁回数の減少に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況を確認し、水分補給と運動等に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	個々の状況にあわせ対応できるよう努力をしている。発汗が多く見られる時や便失禁後などには清潔保持の為優先的に入浴を実施している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	テレビを観たり、ソファで寛いでいただいている。また定期的な喚起や室温を調整している。やパジャマの調整で安眠しやすい環境作り心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全体で利用者の内服薬の現状の理解を深め変更があった時は口頭や申し送りノート等で情報の共有を行っている。日々の健康観察で体調変化の早期発見に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割, 楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割, 嗜好品, 楽しみごと, 気分転換等の支援をしている。	利用者それぞれの意向・能力にあわせ取り組めるよう作業を検討し提供している。作業に参加する事で社会の一員だと認識できるよう工夫している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には畑作業を行っている。敷地内の散歩や利用者個人の希望に添えるようご家族に連絡し買い物の代行なども必要時に行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	管理は職員が行っている。利用者の意向を確認し職員が買い物を代行している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人や家族が希望される場合は対応をしている。家族と約束した時間に電話をかけた、利用者が希望される場面の電話を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各居室に自分の作った作品を飾り、個々の部屋の雰囲気明るくなるように努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアーや食堂にソファを置き、寛いでいただける空間を創っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	希望者には馴染みの家具を持ち込みしていただいたり、思い出の写真や自分で作った物を飾っていただいている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物はバリアフリーとし、手すりを設置している。居室には許可をいただき名札を表示し、居室がどなたでも分かるように名札を目線の位置に設置している。また食堂やトイレの場所にも表示をおこない利用者本人が理解できるよう対応している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

グループホーム 大浜

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は、生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 大浜

作成日 令和3年11月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ感染防止の為、外出の機会がなくなっている。	外気にあたる事やストレスの緩和を図る。	希望者には敷地内の散歩や園芸活動を提供し、また施設内行事を充実させる。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。